

アメリカの「航行の自由作戦」を オチョクル中国海軍。 中国軍艦が異常接近して挑発！！

アメリカ太平洋艦隊は、イージス駆逐艦「ディケーター」が南シナ海・南沙（英語名スプラトリー）諸島海域で中国の横暴な権益主張を否定する「航行の自由作戦」を実施しているが、アメリカ軍の作戦遂行中に中国海軍の駆逐艦が事故を装っての「体当たり」目的の異常接近してきたことを明らかにした。

アメリカ太平洋軍の声明によると、イージス駆逐艦『ディケーター』がガベン（中国名・南薰）礁から12カイリ（約22キロ）以内を航行したところ、中国の駆逐艦が「攻撃的な接近」を繰り返しつつ、海域から離脱するよう警告を続けた。中国艦は約40メートルにまで近づき、イージス駆逐艦『ディケーター』は衝突を避けるための操船を余儀なくされた（つまり、逃げた）という。

アメリカ海軍は中国の駆逐艦と衝突されれば電子機器満載のハイテクイージス



イージス駆逐艦「ディケーター」

艦なのでひとたまりもない。野蛮な体当たりには弱い。沈没しないまでも、大損害を受ける。アメリカ海軍はぶつけっこには極めて弱いのだ。

◆「張り子のトラ」とは中国のことはずだが、衝突を恐れて逃げ回るアメリカ海軍は「張り子の猫」かもしれない（ミヤゴ・ニャン・ニャン）。

アメリカ軍の広報担当者は「アメリカ軍は国際法が認めるいかなる場所も飛行、航行し続ける」と格好をつける。

中国の南シナ海軍事拠点化を批判するが「航行の自由作戦」の遂行はできない。

アメリカ海軍は強がっても衝突をおそれて逃げたのだから、世界の笑いもの。

今度からは体当たりに強い補強をした駆逐艦で作戦に臨んだらどうか。

中国海軍とのチキンゲームにはハイテク装備は必要がない。ぶつかったら相手のほうが大破・沈没すればアメリカ軍の勝利。

そのほうが中国海軍もよく理解する。



中国海軍のミサイル駆逐艦「蘭州」